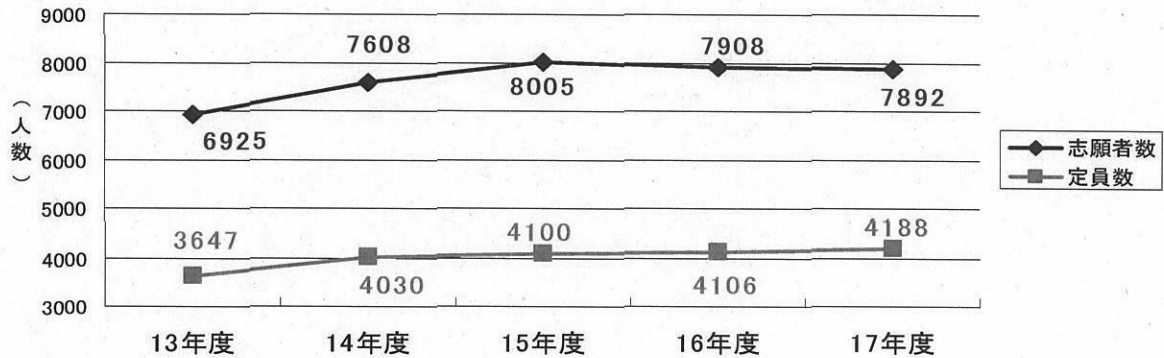


(4) 高校福祉科（福祉コース）の志願者数・定員数・進路の推移

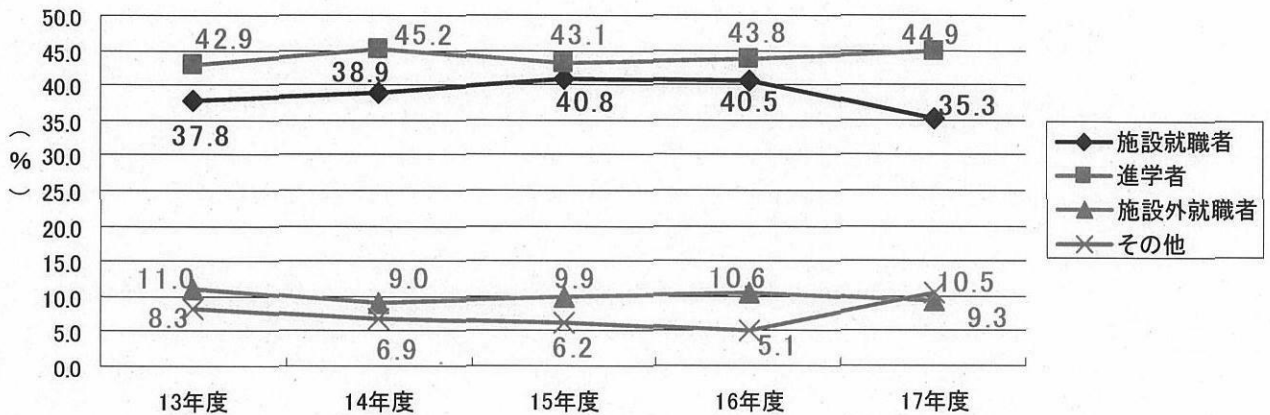
専門学科（福祉科・福祉コース）110校に調査依頼をし、101校から回答を得、その回収率は91.8%であった。

志願者数・定員数推移



平成15年高等学校学習指導要領が改訂になり、教科「福祉」が新設された頃より、志願者数及び定員数はそれぞれ約8,000名と4,000名のあたりを推移している。この数を多いと見るか少ないと見るかは個々の見解の違いもあるが、決して少なくはない数である。言い換えると高齢化が叫ばれ、福祉環境の国内における充実と、福祉に携わる需要の増加に伴い、中学校卒業時点で、現代の若人は福祉への関心が少くない状態になっていると言える。

卒業後進路推移



卒業後の進路は、施設関係への就職は平均すると約38%、進学は44%となっているが、進学はさらに福祉に関連した上級学校への進学がその中心であることを考えると、卒業生の約80%が何らかの形で福祉との繋がりを持っている。さらに進むであろう高齢化と福祉需要を目の前にして、高等学校における福祉教育はそのスタートを切る最も重要な位置に現在あると言える。